

小倉工業北辰会報

Vol. 77

http://www.hokusin.net/

発行：平成30年12月15日

母校創立120周年の成功に向けて

母校小倉工業高校は来年、平成31年に創立120周年を迎えます。明治32年に開校以来、明治・大正・昭和・平成と歴史を刻み、そして平成の最終年と新しい元号の年、歴史的にも重要な節目の年の創立120周年となります。

世界はAIやロボットに代表される技術革新を迎え、工業技術は正に工業を支える骨格となります。その中で工業人材育成は、急速に進む少子高齢化の中で、最も重要なこととされています。創立以来120年にわたり日本はもとより世界の技術を支えてきた我が倉工の役割は、益々重要でです。



ドローンを使ってスイカの育成状況を調査する電気科生徒

近年の母校在校生や卒業生各位の活躍は目覚ましく、ものづくり分野では、技能五輪国際大会金メダリスト4名輩出しているのは全国で我が校のみであり、また、近年の卒業生がシリコンバレーで活躍しています。部活動でも、野球部の活躍は目覚ましく、甲子園にあと一歩まで来ています。運動部、文化部、そして工業高校ならではの生産系部活動を併せると10部は全国大会に出場できるレベルとなっています。母が生徒の頑張り、指導される先生方の熱意にエールを送るところであります。



日々のこの活躍をベースに、創立120周年の節目の年に、日本・世界を指す工業高校へと更に飛躍すべく、記念事業、行事を計画したところです。世の中が大きく変化する中、この創立記念事業・行事を取り組む中で、在校生、先生方、母校同窓会北辰会員、PTAが一致団結し、この事業・行事を成功させ、母校の130年、150年と更に飛躍出来る舞台をつくりたいと決意しています。皆様のご支援とご協力を切にお願い申し上げます。

記念事業・行事の計画は、同封の趣意書にご紹介させて頂きました。記念事業を成功させるためには、基金が必要であります。記念事業・行事のご案内と併せて募金をお願いをさせて頂きました。皆様のご協力を重ねてお願い申し上げます。



第39回 技能五輪国際大会
金メダル受賞
土谷 幸司さん
(平成16年 電子機械科卒)
清水 輝さん
(平成17年 電子科卒)
第41回 技能五輪国際大会
金メダル受賞
川辺 祐也さん
(平成20年 電子機械科卒)
第44回 技能五輪国際大会
金メダル受賞
麻生 知宏さん
(平成24年 電子科卒)

村野藤吾先輩の偉業作品 母校へ寄贈

来春の創立120周年に併せてこの度村野藤吾先輩のご家族から、村野先輩の代表作である1982年に完成された新高輪プリンスホテル(現グランドプリンスホテル新高輪)で同じく村野先輩が設計され迎賓室で使用されていたソファ、スタンド、テーブルが寄贈されました。昨年北九州市から寄贈された旧八幡図書館のレング、手すり、丸窓と併せて、ものづくりを目指す母校生徒の学びの財産として展示、活用されます。



旧八幡図書館で使用されていた丸窓と手すり(上)



新高輪プリンスホテルで使用されていたソファ、スタンド、テーブル(右)

創立120年史への 寄稿について

創立120周年に併せて記念史が発刊されます。

この中で、「これだけは残したい技術」「これだけは残したい倉工の歴史秘話」を公募することとしました。

母校の記念史には、25周年、60周年、70周年、80周年、90周年、100周年、110周年と記念史がありますが、世代が大きく変わる中で、120周年を節目に、これまでに知られていなかった、母校先輩の活躍、在校中の思い出を募集することとしました。

記念史の編纂は学校を中心に行いますが、頂いた原稿の中から選抜し、掲載させて頂こうと計画しています。寄稿頂きました皆様には、記念品を差し上げる予定です。また、具体的な応募方法は、春の北辰会報でご案内致します。



創立120周年記念史について

創立120周年記念史は2020年2月に発刊予定です。希望者には有料で販売致します。

1部...2,000円(送料込)

お問い合わせ

北辰会事務局

TEL 093-571-1124
FAX 093-583-4924



北辰会会長
 筈原 裕明（昭和42年 電子科卒）

寒暖差の大きな気候ですが、年の瀬を迎え、倉工ご卒業の北辰会会員各位におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。また、日頃から倉工同窓会北辰会活動にご協力賜り、心から感謝申し上げます。

北辰会の年間行事も、紙面で報告しております様に、大きな行事は盛会に無事、終えることができました。部活動支援激励の「がんばろう会」では、商業教育No.1と言われる県立岐阜商業高校で活躍されている先生にお越し頂き、母校で全国大会へ向け、日々頑張っている先生方に、エールを送る話を頂き交流を含めてとても盛り上がりました。昨年風雨の中参加者の皆様の頑張りで成功しましたゴルフコンペ、今年は幸い好天に恵まれ、爽やかな中での大会となり、盛会に行われました。各支部の総会も順調に開催され、念願の昨年発足した中部支部も、第二回の総会を10月20日に開催することが出来ました。各支部共に、昭和世代のバックアップの元、平成世代の皆さんの実務実働が多くみえてきています。日頃の皆様のご努力ご協力に感謝申し上げます。

さて、母校後輩の活躍は素晴らしいものがあります。今年度も就職決定は全国トップ、体育大会では、数千人の保護者・地域の見学が有る中、卒業生放映プ

ロチームが、東京から駆けつけインターネットライブ中継、倉工健児此処にありと雄々しく逞しい姿を披露した全国有数の大会で、来年の120周年記念大会に向けて更にレベルアップしていました。文武両道の後輩の活躍は目覚ましく、野球部は夏秋ともに県大会で大活躍、甲子園まであと二歩のところに来ています。陸上部の36年連続のインターハイ出場、空手道九州大会出場、卓球はこの秋念願の九州大会出場を果たしました。高校生ものづくり大会電子回路部門で九州大会出場、若年者ものづくり大会メカトロニクス、ロボット競技大会、高文連写真部門が共に全国大会出場など、大きな成果を出しています。

母校では創立120周年をいよいよ来年に迎えます。少子化の中、工業技術を支える人材育成が益々重要となります。日本ばかりでなく世界の中核校として母校の将来を見据える活動が重要となります。創立120周年記念事業・行事は、そのことを見据えて計画されました。会員の皆様のご支援、ご協力を心からお願い申し上げます。

会員の皆様、母校関係の皆様にとりまして、来年も素晴らしい年となり、母校共々活躍できることをご祈念申し上げます、ご挨拶と致します。

平成30年度北辰会総会の報告

5月27日(日)小倉飯店に於いて平成7年卒・19年卒の当番幹事の皆さんのお世話で北辰会総会が開催されました。

植松 稔（平成7年電気科卒）幹事長始め当番幹事長始め当番幹事の皆さんは各支部総会、懇親会などに出向き会員券の販売や広告の依頼に積極的に取り組み、総会当日まで熱心に討議を重ね準備をしました。

総会は電気科卒の小宮由幸さんと濱田広志さんが司会進行を担当し、林武博（昭和45年電気科卒）副会長の開会宣言で始まり、平成29年度にご逝去された方々のご冥福をお祈りして黙祷を捧げました。

会長挨拶では「現在母校から一番多く就職している若い世代の卒業生が中心となり、二年間準備してきた活動が実を結び昨年12月に中部支部が誕生しました。又、技能五輪国際大会で麻生知宏さん（平成24年電子科卒）が金メダルを受賞しました。ここ10年で母校卒業生が4個の金メダルを獲得した学校は小倉工業だけで、正に日本一です」と報告がありました。

馬場（昭和42年電子科卒）部活動後援会長から各部活動の報告と「野球部は来年初部百年を迎えるので北辰会として出来ることは協力したい」と挨拶がありました。

今年勤続10年の表彰者は、橋本朋子先生と福来知昭先生の二人で、今後も母校生徒の為に頑張つて下さいと筈原会長から感謝状と記念品が送られました。

議案審議では29年度事業報告、決算報告、監査報告があり拍手で承認を受けました。

今年役員改選の年にあたりますが来年度の創立120周年に全員留任して取り組む

ことになりました。

懇親会では中部支部、村上好生（昭和36年機械科卒）支部長の発声による乾杯で始まり、今年のメインイベントでは天神チャコットカルチャースクール講師 田中秀美様が主催するフラメンコスタジオ ロサルシーダの皆様により本格的な愛と情熱のフラメンコショーが披露されました。



平成30年度 部活動後援会の活動

部活動がんばろう会

部活動後援会では、部活動を指導していただく先生方の慰労と激励を兼ねてOBと保護者が参加して毎年部活動がんばろう会を開催しています。今年も、7月22日(日)に小倉飯店で行われました。

第一部は、「商業教育日本一、部活動日本一、進路達成日本一を目指して」日々の教育活動を行っている岐阜県立岐阜商業高校から、田中英淳先生と後藤有喜先生をお招きして『日本一から世界を目指す活動へ』と題して講演していただきました。

岐阜商業高校は、学年四百名7割が、進学・3割が就職希望です。新入生には、3年生が挨拶や校歌の指導を行っています。(これは、小倉工業も同じです)毎朝の国旗掲揚時には、運動部が校庭に集まり校旗を掲揚しています。殆どの部活が、全国大会へ進み成果を上げています。

野球、陸上、テニス、バレー、バドミントン、空手、珠算、ワープロ、書道、マーチング、吹奏楽、簿記、LOB簿記部は、全国大会常連で5連覇中。

野球部は、春28回、夏28回、合計56回出場し、優勝4回・準優勝6回・2015年ベスト8、それ以後の出場はない。文化祭では、各部が優勝旗を持ってステージ上に並ぶ様子は、他の学校では想像つかない程の数の優勝旗で一杯になります。

マラソンランナーの高橋尚子さん、水泳の兼藤さん、糸井さん等複数のオリンピック選手も出しています。最近では、月に一度部活に連休を取り入れました。

自動車産業を支えるのは、ものづくりであり産業を支える軸は、専門高校にあります。

子供達の力は無限です。褒めて自分達で主体的に考えて行動させる教育が大切です。生徒が、自分達でミーティングを行い先生方の指導を受けながら株式会社 岐阜商を起業、順調に運営されています等、大変参考になるお話をいただきました。

第二部は、桑野和親(昭和35年 機械科卒)さんの発声で、乾杯し懇親が始まり各部活動の先生方が、自己紹介と抱負を語りました。

空手道部は、OB会が発足し三年目となり、宮本鎮治(平成6年 電子科卒) OB会長も、ステージ

に上り現役部員を応援すると力強く表明しました。野球部の牧島監督は、甲子園に出場し、決勝戦で岐阜商業と対戦したいと目標を掲げました。

卓球部は、新人戦で団体戦が九州大会へ進めるように頑張りたいと述べました。(公約通り12月21日から九州大会へ出場する事ができました。)

陸上部は、36年連続で、インターハイ出場を成し遂げ棒高跳び、800M、八種競技(7位入賞)で出場しました。

その他の部活もそれぞれ目標を掲げ九州大会、全国大会に向けて練習に励み来年の「がんばろう会」で胸を張って報告できることを願います。懇親会を終えました。

第25回 北辰会オープンゴルフ大会



平成30年10月15日(月) 勝山御所カントリークラブ(京都府みやこ町勝山大久保)に於いて76名が参加して行われました。昨年の大会は朝からの降雨の中で途中棄権者が出ると予想していましたが92名全員が最後までプレーを続け風邪を引いた人もいましたが、今年はこれ以上ない様なゴルフ日和に恵まれ、和気藹々とのびのびとプレーを楽しみました。

当日の収益金は母校教育振興基金へ寄付し、部活動、ものづくり、その他の支援に使用させていただきました。

入賞者は次の通りです。

【男性の部】

優勝 國廣 竹史(昭和34年 電気科卒)
準優勝 高田 毅(一般)
3位 野間口 幸博(一般)
ベストクロス 松尾 五郎76(昭和42年 電気科卒)

【女性の部】

優勝 佐藤 千代美(一般)
準優勝 内田 嘉代(一般)
3位 西尾 英子(一般)
ベストクロス 佐藤 千代美95

平成29年度 教育振興基金報告

平成29年度の給付事業は平成28年度に皆様から寄せられた浄財で次の事業を行いました。

●給付事業

一、山田奨学会への給付
一般奨学金一名に給付
120,000円
特別奨学金 希望者が出なかった

一、科学研究奨学会

無線部に給付
メカトロニクス職種
技術向上の取組み
超高齢化社会に向けた
高齢者支援システムの研究
500,000円

一、部活動奨励費

吹奏楽部・メディア部
インターアクト部
500,000円

一、教育研究奨励費

メディア部に給付
体育大会インターネット
ライブ配信補助
200,000円

一、国際研修費

オーストラリア大使館
留学研修説明会に教師2名派遣
288,263円

一、予備費

次世代リーダー養成塾 派遣
陸上部インターハイ出場 補助
メカトロ職種全国大会出場 補助
210,000円

●募金活動

平成29年度の募金活動で330件の同窓各位・団体から1,668,000円の浄財が寄せられました。皆様からの貴重な浄財は平成30年度の教育振興基金の活動にあてられます。

平成29年度にご逝去された方々

旧職員 旧職員 旧職員 昭10機 昭12機 昭12機 昭16機 昭16機 昭18機 昭18機 昭20機 昭20機	取瀬 本 森岡 青 野米 田 榎澤 喜 藤村 富 木村 貝 真崎 純 澤原 敏	義雄 一 純秋 雄 悟一 恵 勇肇 肇 喜代士 男 富敏 行 大具 純 一昭 昭	昭20電 昭20化 昭21機 昭21機 昭23機 昭24化 昭25機 昭25電 昭25電 昭26機 昭27機 昭27機	1種 3種 3種 2種 2種 2種 2種 2種 2種 2種 2種 1種	嘉多山豊喜 日永田義彦 鵜島寿章 永井靖二 村上剛毅 寺戸敏和 上鶴俊彦 佐古野晋 塚口一夫 西川締夫 上本晋 小串昌弘
---	--	---	--	--	---

ご逝去された方々のご冥福を心からお祈り申し上げます。
(平成29年5月11日より平成30年5月10日までに連絡のあった方々)

昭27化 昭28機 昭29機 昭29電 昭30機 昭30機 昭30電 昭31機 昭31機 昭31電	末吉三正 栗澤信行 大石宗俊 武田明哲 山本健吉 小沢昇 百留一市 大森博 福田勝 江尻行 平井勝 木村雄	昭33電 昭33電 昭37電 昭39化 昭40電 昭40化 昭43機 昭46電 昭46化 昭48化 昭50設 昭62機	佐野 篤 古川 晶 栖山 繁 木下 幸 飯田 健 濱田 鉄 辻田 泰 三島 達 辛島 邦 荒添 秀 川村 和 高田 則 英二
--	--	--	--

(敬称略)

昭和37年卒 機械工作科同窓会



君島 潔
昭和37年
機械工作科卒

私たちは、昭和37年（1962年）当時の機械工作科を卒業し、倉工入学から、今年で59年目を迎えました。数名の友人は鬼籍に入りましたが、皆元気で、まだ現役で活躍組も数名います。

当時生徒会長だった岩田君をリーダーに未だにしっかりと纏まって、他に類を見ないと思われる、わがクラス自慢をさせていただきます。

仲間九州から関東まで広く分散していますが、関東地区・博多地区・北九州地区・京築地区で、グループを作り各地区で年に数回のミニクラス会を開催し、旧交を温めると同時に、クラス全体同窓会を、卒業20年目から、古稀記念同窓会までに、6回開催、今年は古稀から5年目の同窓会を開き半数が参加、盛会でした。

10年前の同窓会時と同じように、今回も母校見学の允許をいただき、教頭先生、広報の皆様、実習工場の先生にはお世話になり、また、授業中の教室にも入っていたとき、貴重な体験もさせていただきました。実習工場は当時とは大きく教育内容が高度化し、3Dプリンターの存在には驚かされました。母校の教育環境はこの地域では恵まれた位置に置かれ、卒業生も100%の就職率とか。人生100年説も聞こえ、私たちも微力ですが社会貢献をと思っております。

来年は120周年記念、母校のますますの技術的栄華とご発展をお祈りいたします。



昭和37年機械工作科卒有志の方々から3万円を寄付していただきました。

教育振興基金として、母校生徒の為に使用させていただきます。ありがとうございます。

北辰会事務局

部活のおかげで藍綬褒章受章



今尾 幸夫
(旧姓：延未)
昭和44年
機械工作科卒

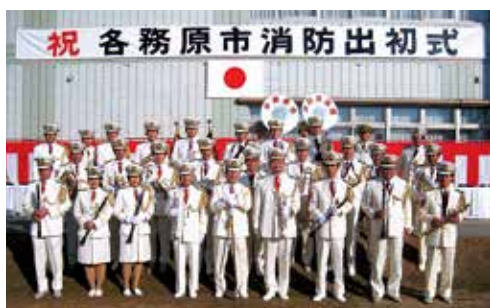


昭和41年4月、三歳上の兄と入れ替りで同じ機械工作科に入学。部活も同じ音楽部に入学し、パートも同じトランペットを担当した。部活での思い出は、西部吹奏楽コンクール出場や野球部が出場した夏の甲子園大会に2年連続して応援に行ったことである。

昭和44年4月、川崎重工業岐阜工場（航空宇宙カンパニー）に就職し、一旦は音楽演奏から遠ざかった。昭和56年に居住地である岐阜県各務原市の消防団員に任命されたため、会社勤務の傍ら消防団活動をスタートした。そして、音楽経験があったことから昭和58年に発足した各務原市消防音楽隊の隊員となり、再びトランペットを吹く機会が巡ってきた。

各務原市消防音楽隊は消防職員と消防団員との混成で、私は消防団員の音楽隊員として活動。消防出初式を始め、市内外でのいろいろなイベントで演奏活動を長年行ってきた。

その35年間に亘る消防団活動の功労が認められ、平成28年春の褒章に際して藍綬褒章（消防功労）を受章することができた。東京で行われた消防庁主催の褒章伝達式に出席し、皇居にて天皇陛下に拝謁し感激。この受章は、母校の部活で得た音楽経験のおかげと感謝している。



小倉南支部の催し



支部長
山元 和則
昭和60年
機械科卒

昨年まで秋に「さつま芋掘り大会」を開催していましたが、雑草負けによる不作や度重なる雨天延期で参加者の減少により、大きく採算割れになりました。そこで今年は、「筍掘り大会」に変更しました。

昨年の9月から合馬の竹林をお借りして準備を始め、これまでに140本以上の間伐を行い筍を掘れる環境は整い筍も沢山生えてきました。9回の実施に対し残念ながら参加者が11名という結果になりました。参加者の買取と山元自身が販売した分を合算すると、合計33,650円を売り上げる事が出来ました。

来年は、何の開催を行うか正式には決まっておりますが、掘った筍の販売や芋の苗の植え方など工夫して、春の筍と秋の芋掘りの両方の開催が出来る様に準備を進めていきたいと考えております。開催の際には、支部内外を問わず大勢の方々のご参加を歓迎いたします。

お問い合わせ

小倉南支部 山元：090-9600-2715



部活動状況

文化部

ものづくり部

ロボット競技大会 全国大会出場
倉工1号 木元慶生 工業化学科3年・木村詩苑 機械科3年
長部昌起 機械科3年・黄檗志紋 電子科2年
土井友久 工業化学科2年
倉工2号 岡本翔陽 機械科3年・吉田優太 電子機械科2年
鶴田一真 電子機械科2年・松岡海月 工業化学科2年
井上友輝 電気系1年
ものづくりコンテスト
九州大会出場 電子回路組立部門 岩井克樹 電子科2年
県大会 化学分析部門3位 船本勇輝 工業化学科3年
若年者ものづくり競技大会
全国大会出場 メカトロニクス部門
有田寛之 電子科2年・長田大和 工業化学科2年
マイコンカーラレー
九州大会出場 伊藤海心 電子機械科3年

メディア部

高文連写真部門
総合文化祭写真展 大賞（全国大会推薦）
森田 優樹 電気科2年



メディア部 森田 優樹さん

吹奏楽部

北九州吹奏楽部コンクール 銀賞
福岡県学校音楽コンクール 銀賞
チューバソロ 太田和真 電子機械科3年

運動部

陸上部

36年連続インターハイ出場
800m 瀬川 慧 工業化学科3年
棒高跳 齋藤温輝 電気科3年
八種競技 7位 寺本喬祐 機械科3年

野球部

全国高校野球大会 ベスト8
北部大会 小倉工7-10飯塚商
北九州地区新人戦 ベスト4
準決勝 小倉工0-11真帆館
九州地区大会 県ベスト4
準決勝 小倉工1-5九国大付属
3位決定戦 小倉工6-16真帆館

空手道部

新人大会 九州大会出場
木村真之介 機械科2年
団体組手 3位 阿部竜寛 電気科2年
小川芳記 電気科2年
田中智也 電気科2年
古矢陸渡 電気系1年
田畑瑞希 化学系1年
宮原健太 化学系1年
植木優太 化学系1年
個人形 3位 古矢陸渡 電気系1年
個人組手 5位 古矢陸渡 電気系1年

サッカー部

全国高校サッカー 福岡県大会
一回戦 小倉工7-0直方高
二回戦 小倉工1-0小倉高
三回戦 小倉工3-1北筑高
四回戦 小倉工1-5高陵高

バドミントン部

県高校新人戦
一回戦 小倉工3-1福岡清陵高
二回戦 小倉工3-0田川科技高
三回戦 小倉工0-3筑紫高

卓球部

県高校卓球大会 北部ブロック3位（県大会出場）
県大会 団体3位（九州大会出場決定）
小野海翔 電気科2年
高野晃誠 電子機械科2年
尾田真一郎 電子機械科2年
鬼丸賢太 電子機械科2年
古野陽己 機械系1年
尾越 蓮 機械系1年
門垣悠人 電気系1年
東郷巧己 電気系1年
山添瑠斗 電気系1年
九州大会出場
12月21日～23日北九州総合体育館で行われます

福岡県一早い進路状況（工業高校）

今年度、福岡労働局から、福岡県内高校新卒者の求職者数7,216人に対し、求人数17,668人と求人倍率2.45（昨年2.11）倍と昭和62年度調査開始以降で最高になったと発表されました。

その中で本校は、求人企業数と求人数ともに増加しました。特に他校に見ない職種の多さでは、生徒にとってはとても良い状況となりました。しかし、この現状に満足することなく3年生は進路実現に向けて夏休み返上で努力を重ねてきました。その結果、10月18日には、就職希望者175名の全員の内定をいただき、いち早く就職率100%を達成することができました。

進学希望者においても現在、推薦入試試験等に向け努力しております。

この成果は、同窓の皆様の各企業や各職場でのご活躍と本校への温かいご支援によるところが大変大きいと感謝しています。さらには、先輩諸氏から引き継がれている倉工魂で、一人一人が高い進路意識を持って取り組んできた成果だと思えます。本校職員は、今後もこの伝統を引継ぐべく在校生全員の進路実現に向け、全職員で指導してまいります。

〈就職希望者：175名〉

内 定 者 ……………175名
（県内93名、県外82名）内定率100%

進 学 希 望 者 …………… 21名

合 計 ……………196名

11月1日現在

新卒業生も頑張っています

斯波 直也さん（平成30年 機械科卒）

平成30年3月に本校機械科を卒業した斯波直也さんは、中学生時代は野球部に所属していました。

高校では人の役に立ちたいという思いからプレーヤーを支える道を選択し、野球部のマネージャーを務めました。マネージャーとして斯波さんは、練習の補助や選手の管理、対戦相手のデータ分析など、野球部には欠かせない存在となり、夏の甲子園予選県大会ベスト8へ導く原動力となりました。

また、学生の本分でもある学業にも力を入れ、学年トップの成績でした。明るい性格でみんなから慕われ、学校行事等にも積極的に取り組んでいました。

進路は、工業立国である日本を支える技術者になりたいとトヨタ工業学園専門部を希望し、採用試験に向けての学習や面接練習など一生懸命に取り組み、見事内定をいただくことができました。そういった本人の努力や人柄もあり、入学式では新入生代表として誓いの言葉を述べる大役を任されることとなりました。

斯波さんは今、トヨタ工業学園でもものづくりの知識や技術の習得は勿論のこと、心身の鍛錬に努めています。これからの活躍が楽しみです。



吹奏楽部 定期演奏会のお知らせ

第13回定期演奏会は、2019年2月3日(日) 13時30分からウェル戸畑大ホールにて行います。入場無料です。多数のご来場をお待ちしています。

会計報告

平成29年度北辰会決算書及び平成30年度予算案

(単位:円)

費目	平成29年4月1日～平成30年3月31日			摘要	平成30年度 予算額	摘要
	予算額	決算額	対比増減			
収入						
前年度繰越金	364,584	364,584	0		364,807	
同窓会費	2,200,000	1,810,000	390,000	905件	2,000,000	
新入生入会金	600,000	600,000	0	@3,000円×200名	600,000	@3,000円×200名
在校生同窓会費	3,576,000	3,584,500	△8,500	@500円×12ヶ月×1,2,3年	3,576,000	@500円×12ヶ月×1,2,3年(596人)
預金利息	16	2	14	福銀 0円 福銀2 2円	93	
入						
名簿販売金	72,000	54,000	18,000	12冊	54,000	@4,500円×12冊
雑収入	287,400	300,000	△12,600	総会より300,000円	405,100	
合計	7,100,000	6,713,086	386,914		7,000,000	
支出						
支部還元金	50,000	39,500	10,500	支部活動支援費	50,000	支部活動支援費
組織対策費	450,000	447,897	2,103	組織強化費用・ 支部支部準備費	500,000	組織活性化・ 組織強化費
大名簿編集費	1,000,000	850,000	150,000	名簿積立金へ	1,000,000	平成32年度 改訂積立金
部活動後援費	1,200,000	447,614	752,386	部活動支援費用	800,000	部活動支援費用
事務手当	1,000,000	800,000	200,000	事務局長手当	800,000	事務局長手当
人件費	1,400,000	1,376,855	23,145	事務局パート代 (交通費含)	1,450,000	事務局パート代
印刷費	230,000	228,990	1,010	コピー機リース代 他	250,000	コピー機リース代・ インク代等
会報費	530,000	471,622	58,378	北辰会報冬季号	600,000	北辰会報印刷費・ 発送費
会議費	80,000	50,218	29,782	理事評議員会・ 支部代表者会議	50,000	理事評議員会・ 支部代表者会議
通信費	130,000	108,862	21,138	電話代・領収書 書代・案内等	120,000	電話代・会議通知 料・領収書書代等
旅費交通費	330,000	331,750	△1,750	各支部総会出席 旅費等	400,000	支部総会等出席 旅費・事務局交通費
永年勤続 表彰費	5,000	0	5,000	記念品代	10,000	学校職員10年勤続者
慶事費	170,000	160,000	10,000	支部総会祝儀等	180,000	各支部総会祝儀等
産業教育 振興会費	5,000	5,000	0	1口	5,000	産業教育等協賛費 年会費1口
事務用品代	60,000	36,266	23,734	コピー用紙・封筒・ 文具類他	50,000	事務局事務用品等
振替手数料	80,000	63,338	16,662	会費振替手数料	65,000	会費振替手数料等
雑費	50,000	44,746	5,254	茶葉代他	50,000	茶葉代等
事務局運営費	200,000	303,239	△103,239	水道光熱費・ 電話リース代等	350,000	水道光熱費・清掃代・ 電話リース費用
予備費	100,000	152,590	△52,590	卒業証書フィル・ スクリーン	240,000	
北辰会長 表彰費	30,000	29,792	208	生徒表彰記念品代	30,000	生徒表彰記念品代
寄付	0	400,000	△400,000	基金へ	0	基金へ
合計	7,100,000	6,348,279	751,721		7,000,000	
次年度繰越金		364,807				

平成29年度北辰会定期総会決算書(平成6年・平成18年度卒当番幹事)

(単位:円)

費目	金額		摘要
収入			
総会会員券	1,135,000	@5,000円×227枚	
広告料	1,790,000	@5,000円×358口	
雑収入	463,189	祝儀 85,000円 イベント収入 139,500円 前年度準備金 238,689円	
合計	3,388,189		
支出			
総会費	1,769,436	総会飲食費、会場関係費、会場費、アトラクション代、写真代、 総会資料及び会員券等印刷代、送料等	
当番幹事 会議費	201,776	当番幹事会議費及び反省会費	
事務局運営費	1,416,977	次年度準備金 218,004円 同窓会寄付 300,000円 春季会報費 479,453円 通信費、雑費、事務局運営費等	
合計	3,388,189		
差引残高		0	

創立120周年募金のお願いと 会費納入のお願い

会員の皆様方におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。
いよいよ母校創立120周年を迎えることになりました。学校・PTA・同窓会が力
を合わせて記念事業・行事が滞りなく行われる様に準備を進めています。
北辰会としても最大限の協力をする為には会員の皆様方の変わらぬご支援が重
要です。母校・後輩の支援を目的とした趣旨をご理解賜り、出費多端の折り誠に恐
縮ですが120周年募金と併せて北辰会会費の納入を宜しくお願い申し上げます。

基金会計(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(単位:円)

費目	金額	摘要
前年度繰越金	15,532,711	ゆうちょ銀行定期預金 3,400,000円 福岡中央銀行定期預金 12,132,711円
預金利息	33,753	福岡中央銀行、ゆうちょ銀行解約利息
寄付	400,000	平成29年度一般会計より
合計	15,966,464	ゆうちょ銀行、福岡中央銀行から福岡ひびき信用金庫へ
次年度繰越金	15,966,464	福岡ひびき信用金庫定期預金 15,900,000円 福岡ひびき信用金庫普通預金 66,464円

名簿積立金(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(単位:円)

費目	金額	摘要
前年度繰越金	1,525,541	福岡中央銀行定期預金
名簿積立金	850,000	名簿引当金(平成32年改訂名簿編集費)
利息	70	解約利息
合計	2,375,611	福岡中央銀行から福岡ひびき信用金庫へ
次年度繰越金	2,375,611	福岡ひびき信用金庫定期預金 2,350,000円 福岡ひびき信用金庫普通預金 25,611円

平成29年度教育振興基金(一般会計)決算書

(単位:円)

費目	本年度予算額	本年度決算額	差引増減額	備考
前年度繰越金	3,755,506	3,755,506	0	前年度繰越金
寄付金	2,000,000	1,631,050	△368,950	
雑収入	494	23	△471	預金利息
合計	5,756,000	5,386,579	△369,421	
特別奨学金費	600,000	0	600,000	
山田奨学会費	120,000	120,000	0	@10,000円×6月×1名(前期) @10,000円×6月×1名(後期)
科学研究 奨学会費	500,000	500,000	0	電子科 教諭 小柳茂、 無線部生徒
部活動奨励費	500,000	500,000	0	吹奏楽部・メディア部(写真) インターアクト部
教育研究 奨励費	200,000	200,000	0	体育大会、インターネット ライブ配信補助
国際研修費	300,000	288,263	11,737	・オーストラリア大使館留学 研修説明会 ・仁川機械工業技術交流
管理費	200,000	124,039	75,961	振込用紙印刷代、振込手数料 寄付依頼発送経費
事務費	250,000	249,216	784	同窓会館財産使用料
予備費	3,086,000	210,000	2,876,000	・「日本の次世代リーダー 養成塾」関連 ・陸上部、無線部、ものづくり コンテスト(化学分析)
合計	5,756,000	2,191,518	3,564,482	
差引残高		3,195,061		

収入決算額 支出決算額 差引残額
5,386,579円 — 2,191,518円 = 3,195,061円(平成30年度に繰越)

平成29年度教育振興基金(特別会計)決算書

(単位:円)

費目	本年度予算額	本年度決算額	差引増減額	備考
前年度繰越金	9,024,107	9,024,107	0	前年度繰越金
雑収入	893	76	△817	預金利息
合計	9,025,000	9,024,183	△817	
支出				
合計	0	0	0	
差引残高		9,024,183		

収入決算額 支出決算額 差引残額
9,024,183円 — 0円 = 9,024,183円(平成30年度に繰越)